

議案の紹介

今定例会に提出された議案93件のうち92議案が可決され、成立しました(8面の賛否一覧表をご参照ください)。以下、成立した議案の一部を紹介いたします(議員提出議案については、8面でご紹介しています)。なお、予算の審議については、6・7面の特集「予算等審査特別委員会」をご覧ください。

平成十七年度補正予算
一般会計(主な補正予算項目)
・泉総合運動場や泉岳少年自然の家などのアスベスト対策事業費として、五千三百万円を計上するもの
・小中学校の耐震補強事業費として、十三億千九百万円を計上するもの
条例など(主な項目)

安全安心街づくり条例
安全で安心して暮らせる街の実現のため、犯罪の発生する機会を減らすための取り組みに關し、基本計画を定める等のもの
障害者自立支援法の施行に關する条例
「障害者自立支援法」の制定にあわせ、障害区分を認定する審査会の委員の定数を定めるとともに、罰則を設けるもの
食育推進会議条例
「食育基本法」の制定を考慮し、食育推進会議を設置するとともに、その組織及び運営に關し必要な事項を定めるもの
国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部条例
「国民保護法」の制定に伴い、国民保護対策本部及び緊急対処事態対策本部に關し必要な事項を定めるもの

国民保護協議会条例
「国民保護法」の制定に伴い、国民保護協議会の組織及び運営に關し必要な事項を定める等のもの
事務分掌条例の一部を改正する条例
企画局の事務及び市民局の事務を統合して企画市民局を設置するとともに、子供の保健福祉及び健全育成に關する事項を担当する子供未来局を設置するもの
職員定数条例の一部を改正する条例
職員定数を百五十三名減らし、一万百七十九人に改定するもの
特別職の職員給与、旅費、費用弁償の額並びにその支給方法に關する条例の一部を改正する条例
議員等特別職の職員の報酬月額と期末手当を減額する等のもの

市長等の給与に關する条例の一部を改正する条例
市長等の給料月額と期末手当を減額し、更に平成十四年四月からの給料月額と定率減額措置を一年間延長する等のもの
職員給与に關する条例の一部を改正する条例
市職員の特種勤務手当の種類や支給される職員の範囲を縮小し、支給額の改定を行う等のもの
スポーツ施設条例の一部を改正する条例
一月当たり三千円を超えない範囲内の額で個人使用に係る定期券を発行できることとし、勤労者体育館の名称を若林体育館に改める等のもの
駐車場条例の一部を改正する条例
二日町駐車場、勾当台公園地下駐車場及び仙台駅東口駐車場の料金計算の設定を細分化・減額

するとともに、泉中央駅前駐車場の管理及び料金の收受を指定管理者に行わせる等のもの
地区計画の区域内における建築物の制限に關する条例の一部を改正する条例
出花東地区計画・あすと長町南部地区計画及び泉パークタウン・タウンセンター地区計画の区域内の建築物に關する制限の制定又は変更するもの
財産の取得に關する件
・台原緑地用地を取得するもの
・(仮称)市立広瀬第一小学校用地を取得するもの
町の区域をあらたに画する件
あすと長町地区(郡山・長町・八本松・諏訪町の一部)の町名を「あすと長町」とするもの
市道路線の認定及び廃止に關する件
川内旗立線(その四)ほか二十

一路線を市道として認定し、砲兵前通線ほか三路線を廃止するもの
介護保険条例の一部を改正する条例
平成十八・二十年度までの第一号被保険者(本市の区域内に住所を有する六十五歳以上の者)の保険料率を定める等のもの
人事
宮城県公安委員会の委員の推薦 藤崎 三郎助
人権擁護委員候補者の推薦 吉良 智 菅原 英空 中澤 康博 橋川 光男 橋 しげ子 森山 政司 大西 憲三子 森内 博 増澤 まさ子 小野 和徳 國吉 信子 大泉 静子 内田 正之
収入役の選任 笠原 周一

改革ネット台

佐藤 正昭 議員

問 市長の施政方針と都市ビジョンとされる今日、目指すべき仙台の具体的な将来像について伺う。
答 仙台を市民にとって住みやすく、快適で、誇りを持てる街にしたいと考えており、そのために都市の景観、品格、活力のいずれも世界に通用する高い水準が求められる。本市は豊かな環境、学術

的な集積、様々な市民活動等豊かな資産を持ち、高い可能性に満ちた都市であり、歴史や伝統を大切にしたいポストンの都市づくり等を目標としながら、仙台としての街づくりを進めていく。
問 県市間の新たな関係の構築と東北各都市、各地域との連携を基礎として県市間の問題解決を加えて、東北のリーダー都市として広域観光などの連携強化を。
答 県との関係は、広い視野と長期的な視点に立ち一層強化するべきで、率直な意見交換をし未来を志向した関係を築いていく。東北各都市・地域との連携は、総論だけではなく資源を生かし合う具体的な行動が必要であり、観光や新産業創造等テーマに基づく連携

みらい台

西澤 啓文 議員

問 これからの市政推進のビジョンは、市民とともに創り上げていくべきと考えるが、いかがか。
答 都市ビジョンは、都市の活力の創造等の観点から、今後の都市の姿を打ち出すものである。地下鉄東西線の建設等も見越し

た様々な視点に立ち、また市民と課題認識を共有しながら、仙台の将来像と必要な政策のあり方を検討し、策定していく。
このビジョンの下、新年度には新たな中心市街地活性化基本計画を策定するほか、都市の活性化につながる政策を戦略的に展開する。安全安心街づくり条例に關連して
問 「安全安心街づくり基本計画」に盛り込む具体的な内容は、また、都心部の放置自転車対策に今後、積極的に取り組むべきでは
答 市民個人や地域の防犯能力を高める施策、特に子供や高齢者を犯罪から守るなど、犯罪の抑止にもつながる施策について多方面から検討し、策定する。
放置自転車対策は、利用者のマ



点字ブロックをふさぐ放置自転車

代表質疑

フォーラム台

木村 勝好 議員

問 東西線の開業に間に合うように沿線の街づくりを進めるには、これまでの手法に加え、必要な駅をいくつか選定し、街づくりの実施主体や具体的な手法・エリア等を決め、沿線街づくりを加速すべきではないか。
答 現在、開業時期が見通せる重要な時期であり、開業時までには、



東西線の車両イメージ(デザインは検討中)

問 市長としての公的な発言は、まず仙台市長としての立場を優先するのと同時に、一政治家として発言する場合も、市長の立場と矛盾しないよう、十分な配慮が必要ではないか。
答 仙台市長は、場面によっては様々な立場での発言が求められるが、市議会等における発言は地方自治体の長としての見解が優先される。一方、政治家としての信念に基づき発言することも必要と考えている。自らの信条を率直に市民に語りかけたいと思っているが、いつまでもなく、市長としての発言の重さに十分に意を用いなければならぬと考えている。

問 市長としての公的な発言は、まず仙台市長としての立場を優先するのと同時に、一政治家として発言する場合も、市長の立場と矛盾しないよう、十分な配慮が必要ではないか。
答 仙台市長は、場面によっては様々な立場での発言が求められるが、市議会等における発言は地方自治体の長としての見解が優先される。一方、政治家としての信念に基づき発言することも必要と考えている。自らの信条を率直に市民に語りかけたいと思っているが、いつまでもなく、市長としての発言の重さに十分に意を用いなければならぬと考えている。

問 市長としての公的な発言は、まず仙台市長としての立場を優先するのと同時に、一政治家として発言する場合も、市長の立場と矛盾しないよう、十分な配慮が必要ではないか。
答 仙台市長は、場面によっては様々な立場での発言が求められるが、市議会等における発言は地方自治体の長としての見解が優先される。一方、政治家としての信念に基づき発言することも必要と考えている。自らの信条を率直に市民に語りかけたいと思っているが、いつまでもなく、市長としての発言の重さに十分に意を用いなければならぬと考えている。

公明党

笠原 哲 議員

問 県や他市町村、各病院と協働し、救急告示病院を機能回復・充実・拡大させるとともに、医師が現場に急行し診療・治療する体制を作り上げるよう検討すべき。
答 本市の救急告示病院は全国的に見ても少なく、その機能の充実と拡大に向け、宮城県救急医療協議会の場で県とともに働きかける。また、病院群当番制事業を見直し、それぞれの病院が機能分担しながら救急医療に適切に対応で



現在、試行運用中のドクターカー

問 男女共同参画推進事業費削減を再考し、また、エル・パーク仙台は存続すべきだが、いかがか。
答 男女共同参画推進事業費削減を再考しているが、厳しい財政状況の中、個々の事業費について内容の熟度や緊急性の観点から調整を行い、結果として前年度を下回る事業費となった。

社民党

八島 幸三 議員

問 エル・パーク仙台は既存施設も抜本的にあり方を議論すべきと考えるが検討対象としたもので、今後幅広くご意見をいただき、効率的な運営等の観点から検討したい。
答 伝統とは、時代の中で連続と受け継がれ、よりよき社会・地域をつくる上での精神的拠り所となるものである。その意味で、歴史や文化・倫理・道徳等を尊重し、発展させて未来に引き継ぐという考え方が普遍的な意味や価値を持ち、仙台の街づくりの基本としても重要と確信している。



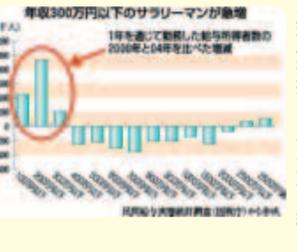
エル・パーク仙台の市民活動スペース

問 確かに継承すべき伝統や文化、歴史などはあるが、その価値観は人によって違っている。した
答 伝統とは、時代の中で連続と受け継がれ、よりよき社会・地域をつくる上での精神的拠り所となるものである。その意味で、歴史や文化・倫理・道徳等を尊重し、発展させて未来に引き継ぐという考え方が普遍的な意味や価値を持ち、仙台の街づくりの基本としても重要と確信している。

日本共産党

花木 則彰 議員

問 市民にとって大事な福祉施策予算を約三億円減額する一方で、市街地再開発と土地地区画整理の二つだけで十三億円余も増額している。新「行政集中改革計画」で市民サービスをただ削るやり方は行うべきでない。「格差社会」拡大の中、市長は不安と困難を抱える市民に光をあて、暮らしを守る仕事に力を集中すべきではないか。
答 都市基盤の整備は、暮らしやすい都市づくりを進めるうえで不可欠である。行政集中改革計画は事業の必要性・緊急性等優先順位を見定め、健全な財政運営の構築に向け取り組む。社会格差の問題は、努力した者が報われる社会こそ健全と考えるが、一方で十分な配慮が必要で、市民の暮らしの現状把握にも十分取り組む。



年収300万円以下のサラリーマンが急増

問 市民の安全に役立たない
答 国民保護計画は、住民避難より敵への反撃が優先され、市民の安全に全く寄与しない。戦争に歯止めをかける地方自治体の役割の放棄につながる。計画策定をしない判断をすべきだがどうか。

問 職業倫理の確立を
答 公的部門、民間部門を問わず、職業倫理や広い意味での「公」に対するモラル、社会性がないがしろにされているケースが多々生じており、極めて遺憾だ。特に、

問 構造計算偽装問題、ライブドア問題、防衛庁の官製談合問題等、職業倫理の欠如による事件の発生に対する市長の所見を伺う。
答 公的部門、民間部門を問わず、職業倫理や広い意味での「公」に対するモラル、社会性がないがしろにされているケースが多々生じており、極めて遺憾だ。特に、

問 本市の救急告示病院は全国的に見ても少なく、その機能の充実と拡大に向け、宮城県救急医療協議会の場で県とともに働きかける。また、病院群当番制事業を見直し、それぞれの病院が機能分担しながら救急医療に適切に対応で

問 男女共同参画推進事業費削減を再考し、また、エル・パーク仙台は存続すべきだが、いかがか。
答 男女共同参画推進事業費削減を再考しているが、厳しい財政状況の中、個々の事業費について内容の熟度や緊急性の観点から調整を行い、結果として前年度を下回る事業費となった。

問 エル・パーク仙台は既存施設も抜本的にあり方を議論すべきと考えるが検討対象としたもので、今後幅広くご意見をいただき、効率的な運営等の観点から検討したい。
答 伝統とは、時代の中で連続と受け継がれ、よりよき社会・地域をつくる上での精神的拠り所となるものである。その意味で、歴史や文化・倫理・道徳等を尊重し、発展させて未来に引き継ぐという考え方が普遍的な意味や価値を持ち、仙台の街づくりの基本としても重要と確信している。

問 確かに継承すべき伝統や文化、歴史などはあるが、その価値観は人によって違っている。した
答 伝統とは、時代の中で連続と受け継がれ、よりよき社会・地域をつくる上での精神的拠り所となるものである。その意味で、歴史や文化・倫理・道徳等を尊重し、発展させて未来に引き継ぐという考え方が普遍的な意味や価値を持ち、仙台の街づくりの基本としても重要と確信している。